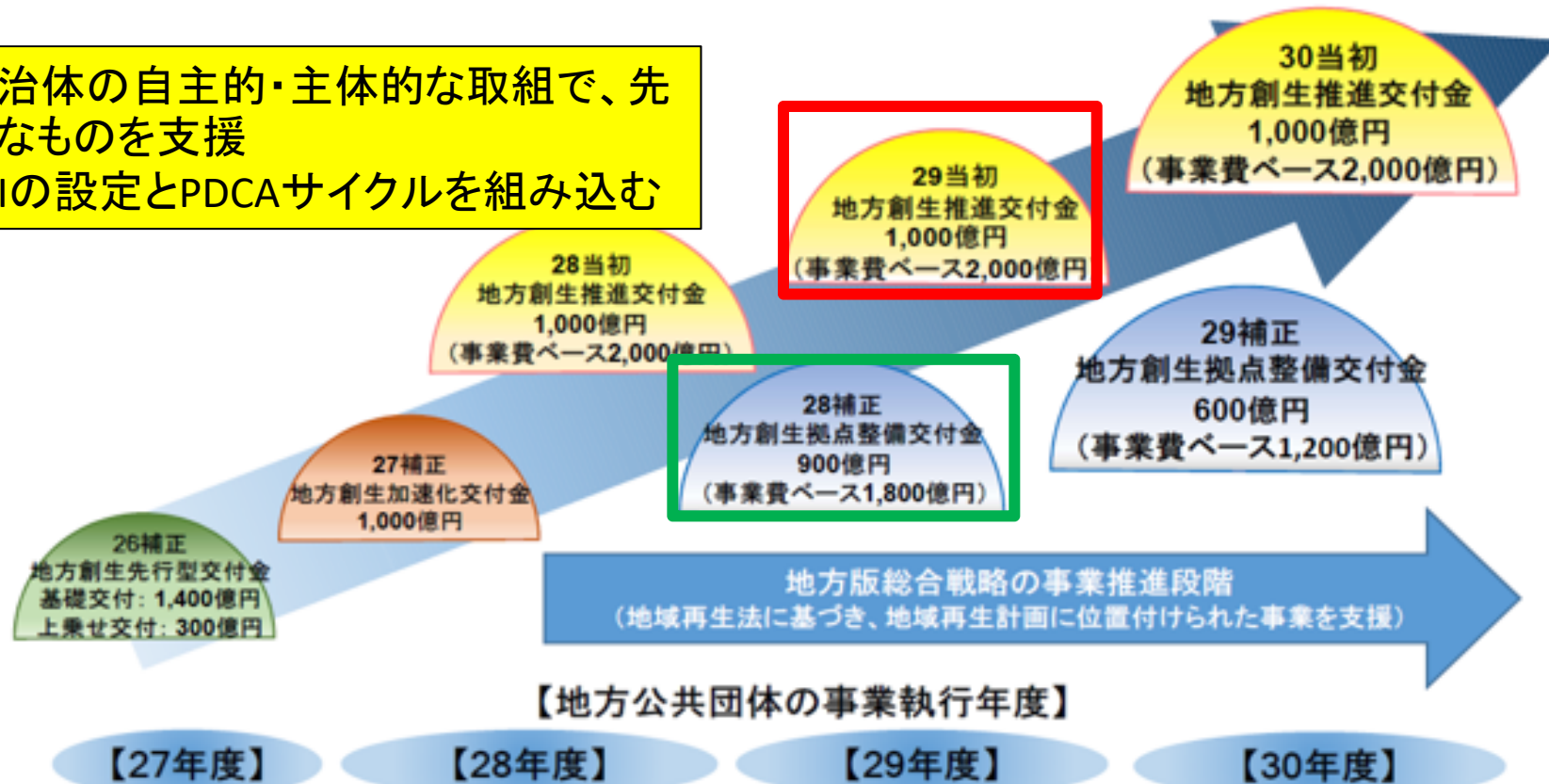


議題(3)

地方創生関係交付金を活用した事業の
実績報告について

平成29年度地方創生関係交付金を受けて実施した事業

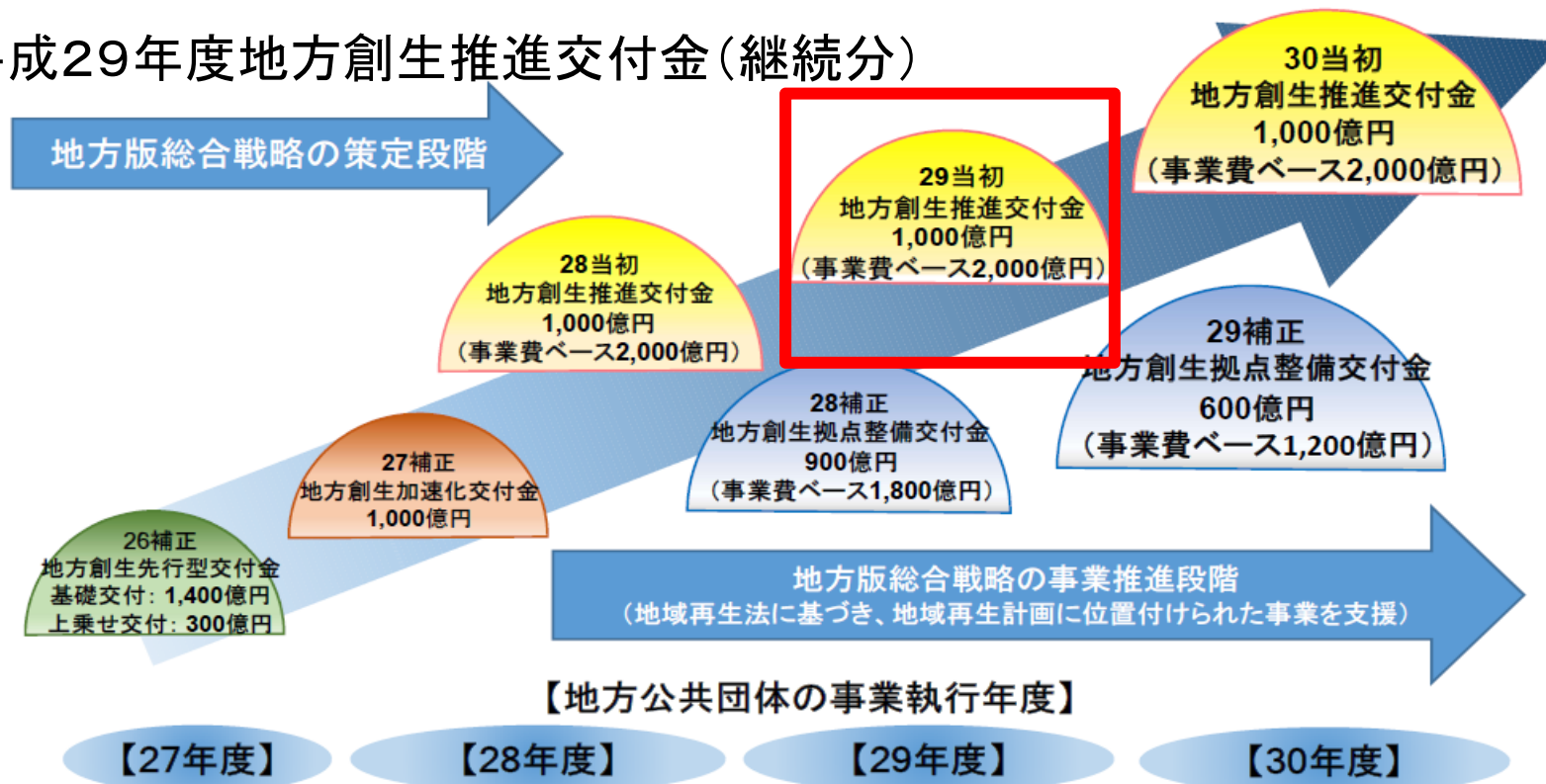
- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込む



がんばる中小企業活性化事業	事業費 (千円)
中小企業ビジネス支援事業	26,974
がんばる中小企業応援事業	23,318
コワーキング施設運営事業	11,343

デンパークリニューアル整備計画	事業費 (千円)
マーガレットハウス改修工事	106,945
屋内プレイパークの設置	38,739

平成29年度地方創生推進交付金(継続分)



がんばる中小企業活性化事業(包括的ビジネス支援) 担当課:商工課

	名称	事業費 (交付金) (千円)	KPI(H29年度)		実績値
1	中小企業ビジネス支援事業	26,974 (13,487)	創業者数	111人	128人
2	がんばる中小企業応援事業	23,318 (11,659)	新製品・新技術開発事業採択件数	8件	7件
3	コワーキング施設運営事業	11,343 (5,671)	ものづくり人材育成講座受講者数	60人	90人

【地方創生推進交付金】（対象：H28.29.30年度）
 がんばる中小企業活性化事業（包括的ビジネス支援）

①事業目的

平成29年6月にオープンしたアンフォーレ内に、同年10月に、創業から新製品開発、新事業開拓、事業承継まで、分野を問わずビジネスを包括的にサポートする拠点（安城ビジネスコンシェルジュ（ABC））を開所させた。専門家の配置や、金融機関や大学等の支援機関との連携により、ビジネスの課題を解決に導き、事業の拡大や経営力の向上を目指す。また、キーポート内のコワーキング施設の運営を委託し、創業の促進を図る。

②事業費（H29事業実績）

項 目	事業費
【中小企業ビジネス支援事業】	26,974千円
コーディネーター報償費、ビジネスサポートセンター相談員謝礼、チーフコーディネーター報償費、印刷製本費、ビジネスコンシェルジュセミナー・開所式委託費、使用料及び賃借料、備品（パソコン、バックパネル）	
【がんばる中小企業応援事業】	23,318千円
研究開発推進事業補助金、安城レーザー技術大学運営委託費、ものづくり人材育成講座講師報償費、企業間連携支援事業補助金	
【コワーキング施設運営事業】	11,343千円
施設運営委託料、賃料	
合 計	61,635千円
交付額（補助率1/2）	30,817千円

③事業概要

■中小企業ビジネス支援事業（ABC）

ビジネス支援センターを開所し、地域の中小企業の相談所として、企業の経営力の向上と創業の促進により地域経済の活性化を目指した。

コーディネーターが事業者を訪問し、課題の把握と今後の商工業施策への提案を行った。

セミナーを随時開催し、経営力向上に向けた最新情報の発信を行った。

■がんばる中小企業応援事業

新商品及び新技術に係る経費を補助し、事業の展開の可能性を導き出した。

今後幅広い産業分野で応用が期待されているレーザー技術について、実践的な講座を開いた。

ものコン開催への支援を行い、企業間マッチングや新たな販路を開拓する場を設けた。

■キーポート内コワーキング施設委託料等

コワーキング施設の運営、セミナーの開催により創業の促進と利用者間の交流を図った。

中小企業ビジネス支援事業

ビジネス支援センター(安城ビジネスコンシェルジュ、通称ABC)の開設・運営

アンフォーレ内にビジネス支援センターを平成29年10月に開設。地域の中小企業・事業者の相談所として、経営力の向上と創業の促進を図ることにより地域経済の活性化を目指しました。

商業・工業(中小企業)コーディネーターが事業者を訪問し、現状課題の把握と情報提供、現場改善等の提案・支援を行いました。

厳選したテーマによる各種セミナーを随時開催し、経営力向上に向けた最新情報の発信を行いました。

ABC 安城ビジネスコンシェルジュ の機能

- 相談機能
 - ・ 予約制の対面相談、訪問型支援
- 専門家による支援機能
 - ・ ライター、webプランナー、中小企業診断士等部門別に配置
- セミナーによる情報提供
 - ・ 商業、サービス業、製造業向けまで適宜開催し、情報提供

ABC 安城ビジネスコンシェルジュ の実績

相談実績 29年10月～30年3月

相談分野	件数
経営計画	205
新製品	170
販路開拓	166
HP作成	143
その他	582
合計(件)	1,266

セミナー開催実績 29年9月～30年3月

対象事業者	回数
全事業者	5
ものづくり事業者	10
商業・サービス事業者	7
合計(回)	22



がんばる中小企業応援事業

市内中小事業者の事業活動を支援し、人材の育成等により地域経済の活性化を目指しました。

人材育成、販路拡大、研究開発、設備投資、企業間連携を促しました。

■企業間連携等支援事業補助金

安城商工会議所の開催する「ものコン」への支援を行いました。(10,000千円)

- ・来場者数 2,020名
- ・出展小間数 88小間(出展小間80、事前予約型商談会8)

■ものづくり人材育成講座

職場活動で必要とされる、強いリーダー養成を目指し、元気な職場作り支援等を目的に開催しました。

- ・開催講座数 5講座(安城レーザー技術大学含む)
- ・受講者数 90人(安城レーザー技術大学27人を含む)



■安城レーザー技術大学運営委託

今後、幅広く応用可能なレーザー技術を地元を中心とした企業への定着を目指し、レーザー工学分野の国内における第一人者である沓名宗春氏(安城市出身)を講師に起用し開講しました。

- ・契約額 2,997,928円
- ・開講期間 29年6月から30年3月
- ・受講者数 27人

■研究開発促進事業補助金

新商品及び新技術の研究開発に係る経費を補助し、事業展開の可能性を導きました。

事業者数	金額(千円)
6	9,381

※採択事業者数は7件



コワーキング施設運営事業

ひとつの空間を共有して仕事、交流のできる場所で、フリーランス、起業家、社外で仕事をしたい人たちが、Co(共に)Working(働く)できる場所になります。作業や打合せのできるフリースペースと専有できる固定席があります。

場 所 JR安城駅(南口)1階キーポート内
利用可能時間 9時から22時まで
年中無休(但し年末年始休)

利用可能サービス

- ・専用スペースの提供
- ・WiFi、電源利用
- ・受付・郵便などの秘書業務
- ・起業セミナー
- ・会員マッチング相談

オープン日 平成27年11月16日

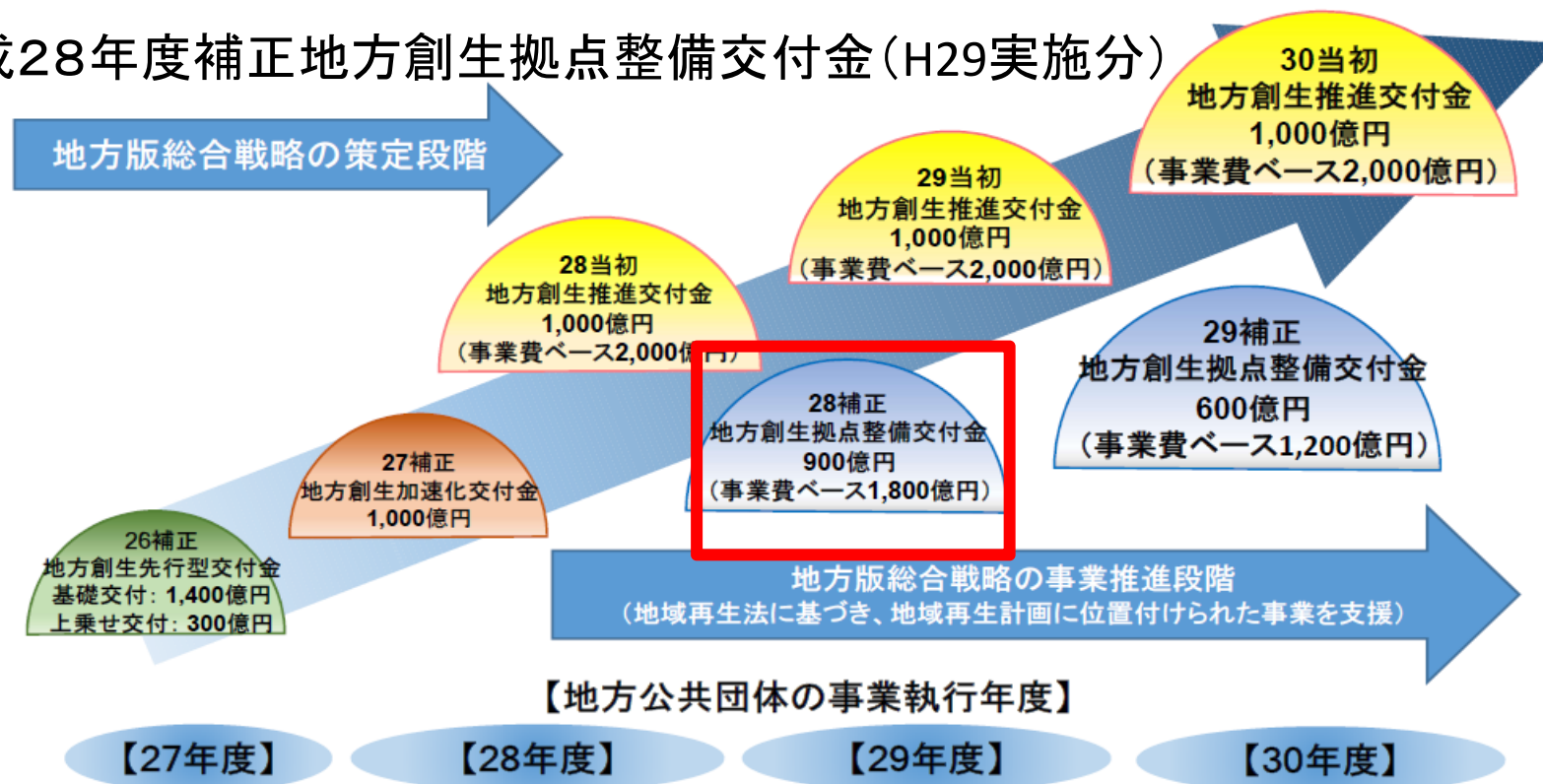
会員種類	固定席会員	フリー会員	ビジター利用
	固定席を使用する月額プラン	固定席を持たず使用する月額プラン	必要な時だけ使用するプラン
席数	15席	10席	—
料金	15,000円／月(3年目以降は30,000円／月)	時間帯により、5000円～7000円／月	時間帯により、1000円～1500円／日



キーポート平面図



平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(H29実施分)



デンパークリニューアル整備計画 担当課:農務課

名称	事業費 (交付金) (千円)	KPI(H30年度)	
デンパークリニューアル 整備計画	145,684 (67,303)	マーガレットハウス 入場者数	10,000人
		デンパーク 入園者数	550,000人

【地方創生拠点整備交付金】（対象：H29年度事業）

デンパークリニューアル整備計画

①事業目的

“子どもも楽しいデンパーク”をコンセプトに「マーガレットハウス」を子どもの屋内プレイパークに改装する。利用者アンケートで不足が指摘されている子どもの遊び場の創出と、雨天時でも集客を期待できる施設を整備することで、子どもからお年寄りまであらゆる世代の人が楽しめる公園都市、安定した集客を図る。

②事業費（H29事業実績）

項 目	事業費
【マーガレットハウス改修工事】	106,945千円
厨房等移転工事、子どものあそび場整備工事、空調改修工事	
【屋内プレイパークの設置】	38,739千円
室内遊具設置	
合 計	145,684千円
交付対象額	134,606千円
交付額(補助率1/2)	67,303千円

※交付額は対象経費の1/2

交付対象経費からは保全工事費を除くため、差額が出ている。

③事業概要

■マーガレットハウス改修工事

マーガレットハウスを改修し、屋内プレイパーク(あそボ～ネ)として整備した。

厨房、休憩室等に移設し、子どもの遊び場、授乳室、子どもと親と一緒に入れる親子トイレ等を設置した。

屋内プレイパークのイメージに合わせ、外壁・屋根等の機能強化工事を実施し、魅力的な意匠を施した。

■屋内プレイパークの設置(あそボ～ネ)

「子供も楽しいデンパーク」をコンセプトに、天候に左右されことなく子どもたちが体を動かして遊べる「あそボ～ネ」を整備し、子ども連れの家族をはじめとする幅広い世代に魅力的なデンパークとすることで、入園者の増加を促す。

デンパークリニューアル整備計画

マーガレットハウス



あそボネ



マーガレットハウス改修	106,945千円
屋内プレイパーク設置	38,739千円
合計	145,684千円
交付金	67,303千円